

斐伊川・神戸川流域における命の絆づくり事業

概要

斐伊川・神戸川という「水の縁」で結ばれた流域全体の力を活用し、過疎・高齢化が進む上流域集落の維持・活性化につなげていくための様々な取り組みを実施した。流域圏全体が水を介した「運命共同体」であり、一体となって環境保全を行う必要性を再確認し、流域連携の取り組みを「命の絆づくり」と称した。事業実施にあたっては、上流域の雲南市・奥出雲町・飯南町と、尾原ダム・志津見ダム周辺の活性化等に取り組むNPOなどからなる「斐伊川・神戸川における命の絆づくり推進会議」を立ち上げ、この会議を推進母体として事業を展開した。

事業の内容

事業の内容

- 既存取り組みの整理／上流域の各種活動団体やイベント等を把握し、今後の課題を整理した。
- “命の絆づくり”パートナーシップの構築／流域の民間企業等に呼びかけ、ふたつのダム周辺で企業CSR活動を実施した。
- “命の絆づくり”プログラムの実施／島根大学と連携した運命共同体セミナーの実施、既存イベント同士の連携、ダムの資源を活用した新たな上下流交流プログラムの実施、情報発信ツールとしてのホームページの制作等を行った。
- 継続的な取り組みに向けたしくみづくりの検討／活動を継続的に実施していくためのしくみ・基金造成等について検討した。
- 総括イベントの実施／本事業の成果を総括する、「水の縁による新たな出雲の国づくりシンポジウム」を開催した。

総事業費 10.3百万円

ポイント

- 上流域と下流域が水の縁(えにし)で結ばれた「運命共同体」であるという共通認識を醸成する
- 大学、企業、NPO、住民などとのパートナーシップを通して事業を実施する
- 下流域が上流域を支えるしくみとして企業CSR活動を位置付け、機能させていく

事業の成果

- 上流域間相互の連携／尾原ダム周辺地域と志津見ダム周辺地域の連携、地域団体・組織間の連携が生まれた。
- 企業CSR活動の実施／下流域の企業の賛同を得て、尾原ダム・志津見ダム周辺での企業CSR活動を行うことができた。
- 下流域住民への意識啓発／運命共同体セミナー、上下流交流事業、シンポジウム等を通して、下流域住民に対し上下流交流・連携に向けた意識啓発ができた。
- 継続的な取り組みに向けたしくみづくり／継続的な活動に向けた財政的裏付けの確保、基金造成に向けての方向性を示すことができた。

島根県雲南市



企業CSR活動



運命共同体セミナー



シンポジウム



命の絆づくり推進会議